

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学皮膚科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報および病理組織標本の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026 年 9 月

福島県立医科大学医学部皮膚科学講座 山本俊幸

■ 研究課題名

好中球性および好酸球性皮膚症における NETs, EETs の解析

■ 研究期間

2026 年 10 月 ～ 2030 年 3 月

■ 研究の目的・意義

好中球性皮膚症や好酸球性皮膚症は多彩な皮膚症状を呈する疾患です。好中球は貪食や脱顆粒のみならず、neutrophil extracellular traps (NETs) を形成することで炎症に関与することが明らかになってきました。壊疽性膿皮症や Sweet 病などの好中球性皮膚症において NETs の関与が注目されています。また、好酸球は組織障害やそう痒、炎症の遷延に関与すると考えられており、eosinophil extracellular traps (EETs) が形成されることが報告され、感染防御だけでなくアレルギー炎症に関与する可能性が示されています。好中球性および好酸球性皮膚症における NETs/EETs 形成の実態を明らかにすることで、これらの疾患に共通する顆粒球依存性炎症の病態理解が進むことが期待されます。また、NETs/EETs の程度と皮疹の重症度、組織障害、検査所見、治療反応性との関連を検討することで、難治例や非典型例の病態把握、疾患分類、治療選択の補助となる基礎資料を得ることが期待され、今後の診療および研究の発展に貢献します。

■ 研究対象となる方

2007 年 1 月～2027 年 3 月に福島県立医科大学附属病院皮膚科を受診し、好中球性皮膚症または好酸球性皮膚症と診断された方が対象です。

■ 研究の方法

対象となる方の診療録情報より、性別、年齢分布、部位、症状（タイプ）、合併症、臨床検査所見、他臓器病変の有無などについて調査を行います。皮膚生検を行った例については、保管されている標本の病理組織と、追加で行う免疫染色の結果についても解析を行います。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026 年 10 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学皮膚科学講座であり、研究責任者は皮膚科学講座 山本俊幸です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学皮膚科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

この研究では他の機関などへの資料・情報の提供は行いません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部皮膚学講座 担当：石川真郷

電話：024-547-1309 FAX：024-548-5412

Email：ishimasa@fmu.ac.jp